
国立印刷局の工芸官による特別講義を12/8(木)に開催
ビュラン彫刻実演会
～国立印刷局工芸官の手業～

東北芸術工科大学 美術科・版画コースでは、国立印刷局の工芸官による本学学生対象の特別講義を企画致します。

新しい日本銀行券にも用いられているビュラン彫刻は、「芸術」と「技術」のコラボレーションであり、芸術の世界で修練した匠の技を実業界で体現した「究極の Art (アート) の姿」と言えます。

国立印刷局の工芸官による特別講義は、本年度からの新たな取組であり、報道関係者から取材を受けするのは今回が初めての機会となります。

【概要】

国立印刷局から工芸官を講師に招き、令和6年度上期に発行が予定されている、新しい日本銀行券にも用いられているビュラン彫刻に関するスライドレクチャー講義及び凹版彫刻の実演と実技指導を、東北芸術工科大学のキャンパスで行います。

国立印刷局が製造する日本銀行券などの原版作製では、現在でも工芸官による手仕事の中核となっています。ビュランという金属の細密彫刻に適した専用の彫刻刀が用いられますが、このビュランを使いこなすには熟練を要し、長い年月と根気が必要とされます。この講義は、印刷の歴史とともに、国立印刷局の工芸官がどのように緻密な画線を彫り進めているかを知り、実際に指導を受けることができる特別講義です。

国民経済に不可欠なインフラストラクチャーの1つである日本銀行券の製品設計を担っている国立印刷局工芸官の高い技術と版画技法が繋がることを、身をもって体験できる今回の特別講義は、版画やデザインを勉強した学生たちの将来のキャリアについての可能性と選択肢を広げる絶好の機会となります。

また、工芸官による特別講義は、銀行券に対する国民の信頼を維持するために必要な情報として、国立印刷局が長年培ってきた工芸官の高い技術を国民の皆さんに知って頂くことを目的とした、社会貢献活動の一環でもあります。

【取材のポイント】

これまであまり外部に出ることのなかった国立印刷局のビュラン彫刻技術について、講義・実技指導が当大学で行われる事は、山形県・市にとっても大きな話題となるでしょう。

また、通常はメディアの取材に顔を出さない※工芸官が当大学へ訪れ、学生の前で講義し、その技術の一端を実際にお見せしますので、令和6年度上期発行予定の新しい日本銀行券が流通した際にも、報道用資料映像として使用できるシーンが撮影できます。

※工芸官の顔の撮影には、一部制限がかかります。

※取材撮影に関しましては、全編の取材は可能ですが、講義、実演及び実技指導は授業ですので進行を中断するような取材撮影はご遠慮いただけますようお願いします。

当日は、国立印刷局理事長と銀行券部長も視察に訪れ、本学学長と意見交換会が行われる予定です。

日時：2022年12月8日（木）

第一部 14:00-14:45

スライドレクチャー講義

場所：本館 201 講義室

本学学生対象



第二部 15:00-16:50

彫刻実演・実技指導

場所：芸術実習棟 銅版室

本学学生対象

【国立印刷局経営層及び製品設計グループスタッフ予定】

国立印刷局理事長、銀行券部長、グループリーダー、作業総括チーム、工芸官 5名

【大津俊哉理事長プロフィール】

新潟県出身。東京大学経済学部卒業。1989年4月 大蔵省入省。

2017年7月 内閣官房内閣参事官（地方創生担当）。2019年7月 九州財務局長。

2021年7月 財務省理財局次長。2022年8月 国立印刷局理事長。

【主催者・お問合せ】

東北芸術工科大学美術科版画コース

TEL: 023-627-2136 (洋画・版画準備室) Email: yuki.taisuke@aga.tuad.ac.jp

担当 結城泰介 (美術科・版画コース 専任講師)

【工芸官に関するお問合せ】

国立印刷局広報官室

TEL: 03-9587-4211 Email: proffice@npb.go.jp

※事前のブリーフィングも可能ですので、国立印刷局広報官室までお問合せ下さい。